

第70回企画展

木の加工と漆塗り



平成28年10月9日(日)~平成28年12月23日(金)

岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館

岩手県では縄文時代の遺跡から、木を^{えく}割ったり削ったりして作られた木材加工品と、それらに漆塗りをしている加工品が出土しており、この時代から木材に漆を塗ったものづくりが始まっている。

岩手の漆器には、浄法寺塗^{じょうぼうじ}、秀衡塗^{ひでひら}、正法寺椀^{しょうぼうじ}などがあり、浄法寺塗^{じょうぼうじ}は奈良時代に開かれた天台寺で自家用の什器^{じゅうき}として製作され、民間に伝えられて、浄法寺御器^{じょうぼうじごき}、御山御器^{おやまごき}と称されている。

岩手で作られる漆器の木地には、轆轤^{ろくろ}による挽き物と、指物技術^{さしもの}による板物の二通りが見られます。浄法寺塗^{じょうぼうじ}産地には、木地屋(師)の定着が基礎になっており、製品の原形を作って供給する集団と、漆原料を集める集団、それを精製して木地に塗り製品に仕上げる集団など、連携された工程で製品化されています。

企画展では、二戸地方で産する浄法寺塗^{じょうぼうじ}をささえた、旧安代町の木地屋集落での木地づくりの工程を紹介しながら、先人の技を学ぶ機会とします。



手引き轆轤^{ろくろ}



精製へら、ぬり鉢

岩手県立農業ふれあい公園
農業科学博物館

北上市飯豊 3-110 TEL:0197-68-3975

開館時間／9:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日／月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日)

入館料／一般300円 学生140円 高校生以下は無料

団体割引等(20名以上)あります

駐車場／大型バス12台 普通車240台 身障者専用5台